

企業名： クラレ

レポート名： クラレ 統合報告書について

1. この会社が目指す姿が理解できるか

よく理解できる。事業活動からアウトカムまで、わかりやすく、丁寧に書かれていると思う。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

よく理解できる。ポバール樹脂や光学用ポバールフィルムといった様々な素材・製品が世界シェア一位であることは、十分な競争優位性を有していると言えるだろう。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

あまり理解できない。これまでクラレ独自の技術力でこの世にない製品を生み出してきたとしているが、中国や他の途上国が技術力を発達させている中、果たして、本当に追いつかれないかどうか不安が残る。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

よく理解できる。人材マネジメントの考え方や育成の仕組み・制度などが詳しく書かれており、社員のスキルアップにつながる実感ができる。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

競争優位性の持続性をもっと示せればよいと思う。クラレが使命としている「他人にやれないことをやる」について、もっと詳しく具体的に示さなければ、ただ理想を語っているようにしか見れなくなる。